

『スポーツウエルネス学学位プログラム』が目指すもの

2020年度より、筑波大学の教育体制が大きく変更され、大学院は学位プログラム化され、スポーツウエルネス学学位プログラムがスタートしました。本学位プログラムは、延期されましたが2020東京オリンピック・パラリンピック後の我が国のスポーツとウエルネス（健康）領域の課題解決型の高度人材の育成を目的としています。

また、学生の皆様のニーズに応えられるように、前期課程（修士）と後期課程（博士）の2課程を用意しています。これらの課程の教育・研究を通じて、是非皆さんとも連携しながら2020東京オリンピック・パラリンピックのレガシーの確立に本学位プログラムの研究活動が貢献したいと強く願っています。

レガシーとして重要なのは、①子どもから高齢者までの国民がスポーツを通じて如何に生活（人生）を充実させられるか、②スポーツにより経済的な側面も含めて地域の活性化にどれくらい貢献できるか、③今後2040年まで我が国の超高齢化による健康問題から生じる様々な社会課題（医療・介護・社会保障など）を克服するための社会技術を開発できるか、④少子化対策としてのスポーツの役割を顕在化させる、等があげられます。

スポーツウエルネスは、スポーツとウエルネス（健康）が融合した学問分野であり、それぞれの教員は教育、研究、そして社会貢献のいずれにおいても我が国でトップレベルの業績を持っています。それゆえ、我が国でもレガシーの確立に最も貢献できる体制の一つと言えます。

このように、今日、健康の価値はますます重要視され、それに対するスポーツの有意性が科学的に大きく認められています。さらに、これらの政策効果やそれらを支えるサービスとしてのビジネスを高めるための人材育成（リカレント）は、社会において大変重要となっています。

そして、本学位プログラムでは、それぞれの領域で生じ、これまで中々解決されていない困難な課題を解決できる実務的な力を向上させると同時に、各種経営資源の調達から、その維持・管理・運営、そして新たなビジョンの開発といったプロモーションやマネジメントを適切に行える力を高めます（イノベーション力、課題解決力）。

これらの課程を通じて本学位プログラムを修了する段階で皆さんは、少子超高齢社会や人口減社会から生じる様々な社会課題を解決し、それらのプロセスにおけるノウハウ及び成果をグローバルに展開できる力が向上し、社会改革に貢献できる人材になっていることでしょう。

是非、筑波大学院の門を叩いた初心を忘れず、本日から研究に励んでください。

筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群
スポーツウエルネス学学位プログラム博士前期課程・後期課程

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群
スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)

2023 年度入学生用

スポーツプロモーション分野
ヘルスプロモーション分野

1. 履修方法

(1) 以下の専門科目（必修）**4単位**を必修とする。

- ・スポーツ・ヘルスプロモーション論概論 **2単位**…標準1年次に申請
- ・スポーツ・ヘルスプロモーション方法論 **1単位**…標準1年次に申請
- ・スポーツ健康研究方法論Ⅰ **1単位**…論文提出年度に申請

*必修専門科目の3科目は、必ず履修すること。

(2) 分野共通の専門科目（選択）から、スポーツ健康研究方法論Ⅱまたはスポーツ健康研究方法論Ⅲの1単位、選択した分野の専門科目（選択）から、所属領域開設科目9単位及び隣接領域開設の講義科目2単位を中心に、**計12単位以上**を履修する。〔備考〕欄も参照のこと。

*研究方法論について（Kdbにより、シラバスを参照）

研究方法論の単位の取得には、研究指導教員の指導のもとに、

スポーツ健康研究方法論Ⅰ：研究計画を立案し、研究テーマの設定、テーマ届けを提出する。

スポーツ健康研究方法論ⅡorⅢ：各自の設定した研究テーマに基づき、研究を実施し、学位論文中間発表会に終日参加し研究進捗状況などについて発表を行う。

○○研究方法論ⅣorⅤ（所属領域開設科目）：研究計画に基づいて修士論文・特定課題研究報告書の作成を行う。

分野ごとに**選択必修**が設けられていますので、それを満たすように履修をする必要があります。次ページの基本履修プランを参考にしてください。

基本の履修プランは

分野共通から

スポーツ健康研究方法論Ⅱ(1単位)*

所属分野から(スポーツプロモーション分野かヘルスプロモーション分野)

選択した自分の領域の

特講(2単位)×2=4単位・・・領域教員2名のそれぞれの科目

演習(2単位)×1=2単位・・・研究指導教員の科目

演習(1単位)×1=1単位・・・研究指導教員の科目

○○研究方法論Ⅳ(2単位)*・・・所属領域開設科目

計9単位

分野内の隣接領域の

特講(2単位)×1=2単位 計2単位

以上

合計12単位

*は修論や報告書作成年度に履修する

スポーツプロモーション分野用〔備考〕欄の抜粋

スポーツプロモーション分野選択者は、選択専門科目から下記の(a)(b)を選択必修とする。

(a) 分野内の下記の特講科目のうち3科目以上(所属領域内2科目、隣接領域内1科目)

スポーツプロモーション論特講

スポーツイベント論特講

スポーツマネジメント論特講

高度競技マネジメント論特講

(b) 分野内の下記の研究方法論Ⅳまたは研究方法論Ⅴのうち1科目を選択必修とする。

スポーツプロモーション研究方法論Ⅳ

スポーツプロモーション研究方法論Ⅴ

スポーツマネジメント研究方法論Ⅳ

スポーツマネジメント研究方法論Ⅴ

(所属領域開設の研究法論Ⅳ又は、研究方法論Ⅴを必修とする。)

ヘルスプロモーション分野用〔備考〕欄の抜粋

ヘルスプロモーション分野選択者は、選択専門科目中の下記の(a)(b)を選択必修とする。

(a) 分野内の下記の特講科目のうち3科目以上(所属領域内2科目、隣接領域内1科目)

ヘルスプロモーション論特講

健康開発プログラム論特講

ストレスマネジメントシステム論特講

コミュニティメンタルヘルス論特講

(b) 分野内の下記の研究方法論Ⅳまたは研究方法論Ⅴのうち1科目を選択必修とする。

ヘルスプロモーション研究方法論Ⅳ

ヘルスプロモーション研究方法論Ⅴ

ストレスマネジメント研究方法論Ⅳ

ストレスマネジメント研究方法論Ⅴ

(所属領域開設の研究法論Ⅳまたは、研究方法論Ⅴを必修とする。)

(3) 研究主題に関連する他分野各領域開設の選択専門科目の講義科目から4単位以上、両分野開設の関連専門科目から4単位以上の計8単位以上を履修する。

*スポーツプロモーション分野（ヘルスプロモーション分野）の方は、ヘルスプロモーション分野（スポーツプロモーション分野）開設の専門科目（選択）の講義科目すなわち特講科目から2科目以上を履修する。専門科目（関連）は、どちらの分野に開設されている科目でも自由に4科目以上履修する。

基本の履修プランは、
各領域が開設する専任教員担当の2単位の特講8科目の中から、
他分野（ご自身が所属する分野ではない分野）開設の
特講(2単位)×2科目=4単位
両分野開設の専門科目(関連)(1単位の中から)
(1単位)×4科目=4単位
以上 合計8単位

(4) 大学院共通科目、他専攻及び他研究科の開設科目を専門科目として履修することができる。

*Kdbで確認をすると、大学院共通科目という位置づけで、開設されている科目があるので、それを専門科目の単位にすることができる。

*また、つくばキャンパス、東京キャンパスの他学位プログラムや他大学院の開設科目を専門科目として履修することもできる。例えば、東京キャンパスには、人文ビジネス科学大学院があるので、その開設科目や、同じ人間総合科学大学院人間総合科学研究群ではあるが、カウンセリング学位プログラムの開設科目も履修できるということである。研究主題に関連する科目を履修することが原則であるため、履修の際には、研究指導教員との相談および授業担当教員に連絡を取り、履修の許可をもらう。

(5) 単位互換制度に基づく他大学大学院の授業科目を専門科目として履修することができる。

(1)4単位、(2)12単位、(3)8単位で、合計が24単位です。
修了要件を満たすには、残り最低6単位を履修する必要があります。
修了に必要な最低条件である残りの6単位を(4)や(5)で履修してもよいし、
(2)や(3)を増やしても良い。

【令和5年度開設授業科目一覧】大学院説明会資料

R5/5

人間総合科学研究群 スポーツウエルネス学学位プログラム（博士前期課程）

※授業実施形態について：
令和5年度は、対面授業を実施しています。

※授業方法 A:講義 B:演習 C:実習・実験・実技

ア 学術院共通基盤科目 / 必修専門科目

区分	学位P 科目番号	授業科目	授業 方法	単 位	履 修 年 次	開講学期	曜時限	教室 (予定)	担当教員	備 考
学 術 院 共 通 基 盤 科 目 (専 門 科 目 必 修)	0AS0603	スポーツ・ヘルスプロモーション方法論	A	1	1・2	春C	水7・8	122	久野譜也 山口香 高橋義雄 辻大士	

イ 専門科目(必修)(選択)分野共通/ 必修専門科目・選択専門科目

区分	学位P 科目番号	授業科目	授業 方法	単 位	履 修 年 次	開講学期	曜時限	教室 (予定)	担当教員	備 考
分 野 共 通 (専 門 科 目 必 修)	0ATS011	スポーツ・ヘルスプロモーション論概論	A	2	1・2	春AB	水7・8	122	高橋義雄 尾縣貢 山久香 山野譜也 久野愛 柴田勝義 水田大士 辻上梢 安藤貴洋 和久和弘 清水	履修は本学位プログラム在籍生に限る
	0ATS021	スポーツ健康研究方法論Ⅰ	B	1	2	春ABC	随時		各教員	
	0ATS032	スポーツ健康研究方法論Ⅱ	B	1	2	秋A	随時		各教員	
	0ATS033	スポーツ健康研究方法論Ⅲ	B	1	2	春A	随時		各教員	※9月末修了予定で、「0ATS032」未修得者用

イ 専門科目(選択) / 選択専門科目(スポーツプロモーション分野)

区分	学位P 科目番号	授業科目	授業 方法	単 位	履 修 年 次	開講学期	曜時 限	教 室 (予定)	担 当 教 員	備 考		
ス ポ ー ツ プ ロ モ ー シ ョ ン 分 野	専 門 科 目 (選 択) ス ポ ー ツ プ ロ モ ー シ ョ ン 領 域	0ATS110	スポーツプロモーション論特講	A	2	1・2	秋AB	木7・8	116	仲 澤 眞	令 和 5 年 度 開 講 せ ず 令 和 5 年 度 開 講 せ ず 令 和 5 年 度 開 講 せ ず	
		0ATS111	スポーツプロモーション論演習1	B	1	1・2						
		0ATS112	スポーツプロモーション論演習2	B	2	1・2						
		0ATS113	スポーツプロモーション論実習	C	1	1・2						
		0ATS120	スポーツイベント論特講	A	2	1・2	春AB	金7・8	116	高 橋 義 雄		
		0ATS121	スポーツイベント論演習1	B	1	1・2	春	随時		高 橋 義 雄		
		0ATS122	スポーツイベント論演習2	B	2	1・2	秋AB	水7・8	432	高 橋 義 雄		
		0ATS123	スポーツイベント論実習	C	1	1・2	通年	随時		高 橋 義 雄		
		0ATS164	スポーツプロモーション研究方法論Ⅳ	B	2	2	秋	随時		高 橋 義 雄		
		0ATS165	スポーツプロモーション研究方法論Ⅴ	B	2	2	春	随時		高 橋 義 雄		※9月末修了予定者用
	ス ポ ー ツ マ ネ ジ メ ン ト 領 域	0ATS210	スポーツマネジメント論特講	A	2	1・2	秋B	火7・8 集中	116	尾 縣 貢	集 中 11/25, 12/9 集 中 講 義 10:00~	
		0ATS211	スポーツマネジメント論演習1	B	1	1・2	秋	随時		{ 尾 縣 貢 和 久 貴 洋		
		0ATS212	スポーツマネジメント論演習2	B	2	1・2	春AB	火7・8	432	{ 尾 縣 貢 和 久 貴 洋		
		0ATS213	スポーツマネジメント論実習	C	1	1・2	通年	随時		尾 縣 貢		
		0ATS220	高度競技マネジメント論特講	A	2	1・2	春A 春B	集中 木7・8	116	山 口 香	集 中 4/22.5/13 集 中 講 義 10:00~	
		0ATS221	高度競技マネジメント論演習1	B	1	1・2	春	随時		山 口 香		
		0ATS222	高度競技マネジメント論演習2	B	2	1・2	秋AB	水7・8	431	山 口 香		
		0ATS223	高度競技マネジメント論実習	C	1	1・2	通年	随時		{ 山 口 香 ()		
		0ATS230	プロスポーツマネジメント論特講	A	2	1・2	秋A	金7・8 集中	116	安 藤 梢	集 中 10/28, 11/4 集 中 講 義 10:00~	
		0ATS231	プロスポーツマネジメント論演習1	B	1	1・2	秋	随時		安 藤 梢		
		0ATS232	プロスポーツマネジメント論演習2	B	2	1・2	春AB	火7・8	431	安 藤 梢		
		0ATS233	プロスポーツマネジメント論実習	C	1	1・2	通年	随時		安 藤 梢		
		0ATS264	スポーツマネジメント研究方法論Ⅳ	B	2	2	秋	随時		{ 尾 縣 貢 山 口 香 安 藤 梢 和 久 貴 洋		
		0ATS265	スポーツマネジメント研究方法論Ⅴ	B	2	2	春	随時		{ 尾 縣 貢 山 口 香 安 藤 梢 和 久 貴 洋	※9月末修了予定者用	

ウ 専門科目(関連) / 選択専門科目(スポーツプロモーション分野)

区分	学位P 科目番号	授業科目	授業 方法	単位	履修 年次	開講学期	曜時限	教室 (予定)	担当教員	備考	
スポーツプロモーション分野	専門科目(関連)	0ATS311	スポーツプロモーション法制論特講	A	1	1・2			齋藤 健 司	西暦偶数年度開講	
		0ATS312	スポーツの倫理と教育	A	1	1・2	春C	集中	116	{ 深澤 浩 洋 長谷川 悦示	西暦奇数年度開講 集中7/22,7/29 四層可致年度開講
		0ATS313	スポーツプロモーションとビジネス	A	1	1・2	秋C	木7・8 3回 集中 1回	116	{ 仲澤 眞 寿 嵯 峨	講義日:12/21, 1/11, 1/18, 集中 1/20 集中講義:時間未
		0ATS314	トップアスリートのトレーニング	A	1	1・2	秋C	金7・8	116	{ 榎本 靖 士 坂入 洋 右 渡部 厚 一 福田 崇 信 木越 清 雄 仙石 泰 隆 岡田 弘 卓 川村 卓 士 吹田 真 亮 小井 土 正 亮 佐藤 貴 弘 齊藤 まゆみ 山口 拓 晃 平岡 拓 崇 松 井	
		0ATS315	トップコーチング	A	1	1・2	秋C	火7・8	116		
		0ATS317	多様なスポーツとインクルージョン	A	1	1・2	春C	火7・8	116		
		0ATS351	コミュニティスポーツプロモーション論特講	A	1	1・2					西暦偶数年度
		0ATS352	国際スポーツビジネス論	A	1	1・2	秋C	集中	116	高橋 義 雄 ほか	集中日 未定
		0ATS371	スポーツ健康科学論 I	A	1	1・2					西暦偶数年度開講

ウ 専門科目(関連) / 選択専門科目(ヘルスプロモーション分野)

区分	学位P 科目番号	授業科目	授業 方法	単位	履修 年次	開講学期	曜時限	教室 (予定)	担当教員	備考	
ヘルスプロモーション分野	専門科目(関連)	0ATS611	生活機能増進法論特講	A	1	1・2	秋C	水7・8	116	{ 向井 直 樹 竹村 雅 裕 河野 禎 之 金森 章 浩 小崎 恵 生 渡部 厚 一 國部 雅 大 松井 由 夫 中山 寛 之 下田 文 史 武間 貴 博 門藏 倫 夫 大中 田 由 夫 坂入 洋 右 木塚 朝 博 麻 見 直 美	集中7/1, 7/8 集中講義10:00~
		0ATS612	健康増進基礎論特講	A	1	1・2	春C	金7・8	116 7/14は122		
		0ATS613	健康社会論	A	1	1・2	春BC	集中	116		
		0ATS614	健康支援の理論と実践	A	1	1・2	春C	木7・8	116		
		0ATS616	スポーツ健康統計学特講	A	1	1・2	春B	集中	116(6/10) 122(6/17)	大藏 倫 博	集中6/10, 6/17 集中講義10:00~ 履修は本学位プログラム在籍生に限る
		0ATS617	質的研究基礎論	A	1	1・2	秋A	集中	116	橋 爪 祐 美	集中10/8,10/14 集中講義10:00~ 履修は本学位プログラム在籍生に限る
		0ATS651	スポーツ健康統計基礎論	A	1	1・2	夏季休業中	集中	119(9/9) 116(9/23)	田 邊 解	集中9/9, 9/23 集中講義10:00~ 履修は本学位プログラム在籍生に限る
		0ATS671	スポーツ健康科学論 II	A	1	1・2	秋ABC	集中	116		集中日 未定 西暦奇数年度開講





令和5年度学年暦カレンダー【東京キャンパス標準】

(2023/02)




大学院関係:東京キャンパス

春学期								秋学期									
曜日	日	月	火	水	木	金	土	備考	曜日	日	月	火	水	木	金	土	備考
4月							1	春季休業4.1-4.10 入学式4.8、新入生オリエンテーション4.8 春学期授業開始4.11	10月	1	2	3	4	5	6	7	開学記念日10.1(開学50周年記念イベント開催予定) 秋学期授業開始10.3
	2	3	4	5	6	7	8			8	9	10	11	12	13	14	
	9	10	11	12	13	14	15			15	16	17	18	19	20	21	
	16	17	18	19	20	21	22			22	23	24	25	26	27	28	
	23	24	25	26	27	28	29			29	30	31					
	30																
5月		1	2	3	4	5	6		11月				1	2	3	4	11.11臨時休業(入学試験実施)
	7	8	9	10	11	12	13			5	6	7	8	9	10	11	
	14	15	16	17	18	19	20			12	13	14	15	16	17	18	
	21	22	23	24	25	26	27			19	20	21	22	23	24	25	
	28	29	30	31						26	27	28	29	30			
6月					1	2	3		12月						1	2	冬季休業12.24-1.5
	4	5	6	7	8	9	10			3	4	5	6	7	8	9	
	11	12	13	14	15	16	17			10	11	12	13	14	15	16	
	18	19	20	21	22	23	24			17	18	19	20	21	22	23	
	25	26	27	28	29	30				24	25	26	27	28	29	30	
7月							1	春学期授業終了7.29	1月		1	2	3	4	5	6	
	2	3	4	5	6	7	8			7	8	9	10	11	12	13	
	9	10	11	12	13	14	15			14	15	16	17	18	19	20	
	16	17	18	19	20	21	22			21	22	23	24	25	26	27	
	23	24	25	26	27	28	29			28	29	30	31				
	30	31															
8月			1	2	3	4	5	春ABCモジュール期末試験7.25, 8.2-8.5 予備日8.1, 8.9-8.10 夏季休業8.11-9.30	2月					1	2	3	秋学期授業終了2.2 秋ABCモジュール期末試験1.30-1.31, 2.3, 2.8-2.9 予備日2.6-2.7 春季休業2.10-3.31
	6	7	8	9	10	11	12			4	5	6	7	8	9	10	
	13	14	15	16	17	18	19			11	12	13	14	15	16	17	
	20	21	22	23	24	25	26			18	19	20	21	22	23	24	
	27	28	29	30	31					25	26	27	28	29			
9月						1	2	開学50周年記念式典9.30	3月						1	2	法科大学院修了日3.15 大学院学位記授与式3.30
	3	4	5	6	7	8	9			3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16			10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23			17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30	
授業 日数			⑮	⑮	⑮	⑮	⑮		授業 日数			⑮	⑮	⑮	⑮	⑮	

5/5

- (注)
1. 太字は、国民の祝日に関する法律による休日(振替え休日含む)を示す。
 2. 期末試験日は  で示し、試験予備日を  で示す。
 3. 休業日は  で示す。
 4. 入学式・新入生オリエンテーション・学位記授与式は  で示す。
 5. 11月11日(土)は入学試験関係で全日臨時休業とする予定。

※ 各学期は、A,B,Cの3つのモジュールに分かれます。

-  Aモジュール
-  Bモジュール
-  Cモジュール

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群
スポーツウエルネス学学位プログラム博士前期課程

課程修了の手引き

(令和2年4月4日：論文審査委員会)

1. 課程修了とは

大学院の修了とは、標準修業年限以上在学し、所定の30単位以上を取得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、論文審査及び最終試験に合格し、学位が授与されることをいいます。

本学東京キャンパスの大学院博士前期課程を修了するには標準2年以上在学し、部局細則に規定する履修方法に従い30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け論文等審査及び最終試験に合格することが必要です。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については1年以上在学すれば足りるものとなっています。(大学院便覧記載事項)

2. 必要な研究指導とは

専門科目(必修)のスポーツ健康研究方法論Ⅰ、専門科目(選択)のスポーツ健康研究方法論Ⅱ(9月末修了者はⅢ)、及び研究領域ごとの専門科目(選択)研究方法論Ⅳ(9月末修了者はⅤ)の授業を基本とし、研究指導担当教員により、個別の研究計画に応じた指導がなされます。これら指導の一環として、学位プログラム主催の中間発表会及び学位論文発表会が必須の内容として位置づけられており、全員の参加が義務付けられています。

当学位プログラムでは、学位プログラム設置の主旨と理念に則した研究活動を推奨しており、スポーツとヘルスの融合を図る観点から、研究指導の面においても両分野の教員が相互に助言できる体制をとっています。

3. 課程修了までの流れと手続き

別紙関係日程一覧に示された内容と手続を、年度ごとに指示される日程を厳守して遂行する必要があります。なお基本的には、各学期末に課程修了ができることになっています。

4. 学位論文とは

大学院は大学院という組織によって運営されています。文字通り研究を旨とする組織であり、教育を旨とする学部・学群とは性格・機能を異にしています。

研究とは、論理的思考と科学的技法をもって課題を解決する営みです。そして、その成果を論文という形で発表します。その論文の形として、当学位プログラムでは修士論文と特定課題研究報告書の二つの学位論文としての形を位置づけています。そして課程修了の称号として修士（スポーツウエルネス学）を取得することが出来ます。

この特定課題研究報告は、高度職業人育成を目指す当学位プログラム前身のスポーツ健康システム・マネジメント専攻のオリジナリティーを示す一つの形として設けられました。

<修士論文>

スポーツまたは健康に関するテーマに則した調査、実験結果の統計学的、科学的検討が行われていること、あるいは文献検討を通じた論理的妥当性と内容妥当性、ならびに理論的創造性があること。

- 1) 研究目的の設定
- 2) 先行研究の検討と本研究の課題と方法
- 3) 結果と考察、あるいは研究の内容
- 4) 結論および今後の課題

<特定課題研究報告書>

スポーツまたは健康に関する特定の課題について、実践的技法を用いて課題解決や目標達成に取組み、その経緯と成果について妥当な考察がなされ、実証的創造性が認められること。

- 1) 研究課題の設定とねらい
- 2) 課題解決へのプロジェクト計画
- 3) プロジェクトの展開と評価
- 4) プロジェクトの成果と考察

2022年度 学位論文 一覧

スポーツプロモーション分野

氏名	種別	指導教員	題目	領域
小野 隼平	修論	菊 幸一	我が国におけるスポーツ早期専門化を加速する構造的問題ー少年サッカーを事例としてー	スポーツマネジメント
金山 徳彦	修論	高橋義雄	中央競技団体の継続収益に関する研究ー会費・登録料・認定料を中心としたー考察ー	スポーツマネジメント
川原 佑	修論	山口 香	国内トップレベルのラグビー審判員におけるストレスに関する研究	スポーツマネジメント
倉山 修	修論	高橋義雄	ジャパンラグビーリーグワン試合観戦者の観戦動機に関する研究ーリコーブラックラムズ東京の試合観戦者を事例としてー	スポーツプロモーション
櫻林 亜佐子	修論	山口 香	なでしこジャパン国際競技力向上のためのー考察ー2011年W杯優勝時のチームマネジメントに着目してー	スポーツマネジメント
成田 憲一	修論	高橋義雄	サッカー審判員資格更新の阻害要因ー福島県における継続者と非継続者の比較からー	スポーツプロモーション
細田 真萌	修論	菊 幸一	スポーツ組織における経営人材育成に関する研究ー文化としてのスポーツを産業化する視点からー	スポーツマネジメント
水石 裕	修論	尾縣 貢	成長期バレーボール選手の膝関節痛の要因	スポーツマネジメント
山下 弘展	修論	高橋義雄	高等学校硬式野球部と基礎自治体・民間との連携に関する研究ー政策ネットワークの視点からー	スポーツプロモーション

ヘルスプロモーション分野

氏名	種別	指導教員	題目	領域
市木 里佳	修論	辻 大士	若年女性のプロ野球観戦と身体活動、運動行動変容ステージ、主観的幸福感との関係ースポーツ観戦関与に着目してー	ストレスマネジメント
植田 祐美子	修論	辻 大士	新型コロナウイルス感染症拡大に伴うスポーツイベント中断による、観戦者のストレス関連要因の反応と緩衝要因の解明	ストレスマネジメント
宇野 隼人	修論	柴田 愛	看護職の慢性腰痛の実態および腰痛重症度と痛み対処方略との関連	ヘルスプロモーション
河崎 優美子	特定	久野譜也	運動習慣のない高齢者を運動教室に勧誘するしくみづくり	ヘルスプロモーション
北 さゆみ	修論	柴田 愛	回復期リハビリテーション病院を退院するサルコペニア高齢者への健康支援が身体機能・QOLに与える影響	ヘルスプロモーション
北川 浩基	特定	水上勝義	大学生の学業成績とストレス及びソーシャルサポートの関連性の検討	ストレスマネジメント
澤井 久子	修論	水上勝義	テレワーク就業者の心身に対する精油の香りの影響	ストレスマネジメント
関口 理恵	特定	水上勝義	陸上自衛隊職種学校入校学生のストレスと体重管理に関する検討	ストレスマネジメント
高木 照仁	特定	水上勝義	ダイバーシティ・マネジメントに関わる中間管理職のストレス・マネジメントについて	ストレスマネジメント
寺尾 育子	修論	柴田 愛	介護予防を目的とした自主グループ活動における役割および役割分担の実態と主観的年齢との関連	ストレスマネジメント
永久保 涼子	修論	辻 大士	子どもの頃の家庭内の逆境体験と青年期の幸福感、主観的健康感、抑うつとの関係	ストレスマネジメント
日巻 敦子	修論	辻 大士	大学が開講する生涯学習事業の受講生における「生涯現役度」の評価と関連要因の検証	ストレスマネジメント
石田 恵美	特定	久野譜也	地域銀行により地域創生において成果を生み出す人材育成に関する研究	ヘルスプロモーション

**スポーツウエルネス学学位プログラム（博士前期課程・博士後期課程）
2024（令和6）年度 入学試験関係日程概要（2023年実施）**

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 スポーツウエルネス学学位プログラム 【博士前期課程】

試験区分	オープン キャンパス	資格審査受付期間	Web出願 及び 願書受付期間	筆記試験	口述試験	合格発表
推薦入試	2023/5/27（土）	2023/6/6（火）～2023/6/10（土）	2023/6/13（火）～2023/6/24（土）	/	2023/7/15（土）	2023/8/1（火）
一般入試		2023/6/27（火）～2023/7/1（土）	2023/7/4（火）～2023/7/15（土）		2023/9/2（土）	2023/10/3（火）

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 スポーツウエルネス学学位プログラム 【博士後期課程】

課程	オープン キャンパス	資格審査受付期間	Web出願 及び 願書受付期間	筆記試験	口述試験	合格発表
【博士後期課程】	2023/5/27（土）	2023/9/5（火）～2023/9/9（土）	2023/9/19（火）～2023/9/30（土）	/	2023/11/11（土）	2023/12/1（金）

注1：出願には『Web入力システム』を導入しています。

注2：募集要項・出願書類・一般入試の過去問題・『Web入力システム』は、

東京キャンパスWebサイト<<https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/>> の入試情報<<https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/examinee/>> よりご確認ください。

スポーツウエルネス学学位プログラム
（博士前期課程）：https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/program/sport-wellness_master/

スポーツウエルネス学学位プログラム
（博士後期課程）：https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/examinee/sport-wellness_doctor/

注3：博士後期課程の外国語試験は、TOEIC® Listening & Reading Testの公式認定証の点数（第2段階選抜実施月の2年前以降に公開テストを受験し公式認定証が発行されたもの）を評価します。詳細は、募集要項を確認してください。

参考：スポーツウエルネス学学位プログラムWebサイト <<https://www.shp.taiiku.otsuka.tsukuba.ac.jp/>>

社会人大学院等支援室 教務担当

お問い合わせ：businessentrance@un.tsukuba.ac.jp